



学校法人敬心学園 健康経営への取組み

“健康な職場から、**未来**を育む”



● 教職員の健康が、学園の力をつくる

- 学校法人敬心学園では、教職員一人ひとりの心身の健康を、教育活動の質の向上と学園の持続的な発展に欠かせない基盤と考えています。
- 健康であることは、学生の成長を支え、安心して学べる環境づくりにも直結します。

● 社会に信頼される学園であるために

- 教育・福祉・医療を担う法人として、まず私たち自身が“健康で働きやすい組織”であることを示すことが、学生・保護者・地域からの信頼につながると考えています。
- 心身の健康を大切にする文化を根づかせ、安心して働ける職場を目指します。

● 理念とつながる健康経営

- 敬心学園は「敬心クレド」の理念に基づき、“未来を創る”“共に成長する”という価値観を大切にしています。
- 健康経営への取組みはその理念の実践であり、教職員がいきいきと働ける環境を整え、未来を育む学園づくりを進めます。

理事長

小林 光俊（コバヤシ ミツトシ）



健康経営に向けた取り組みを推進します！

敬心学園では、教職員の健康を大切にすることが、
教育の質と学園の持続的な発展を支える基盤であると考えています。

その理念のもと、心身の健康保持と働きやすい環境づくりに法人として
継続的に取り組むことをここに表明します。



具体的な取組内容は、次の「**健康経営宣言**」で示します。

学校法人敬心学園

- 東京保健医療専門職大学
- 日本福祉教育専門学校
- 日本リハビリテーション専門学校
- 日本児童教育専門学校
- 日本医専



未来を創る - Create the future -

敬心学園

健康経営宣言

“健康な職場から、**未来**を育む”

学校法人敬心学園は、教職員一人ひとりの心身の健康が、教育活動の質の向上と学園の持続的発展に直結すると考えます。健康は法人にとってかけがえのない資産であり、その保持・増進を重要な経営課題の一つとして位置づけ、以下の取り組みを計画的かつ継続的に推進します。

1. 健康診断・ストレスチェックの実施と結果活用

- ・全教職員に対し年1回の健康診断を実施
- ・全教職員対象のストレスチェックを毎年実施（令和7年度は受検率100%達成）
- ・集団分析結果を法人全体および各校で共有し、職場環境改善に活用

2. 産業医による定期的な衛生講話・健康啓発

- ・法人全体および各校に対し、奇数月の定期訪問時に産業医が衛生講話を実施
- ・熱中症予防、感染症対策など、季節・社会状況に応じたテーマで健康意識を向上

3. メンタルヘルス支援体制の充実

- ・高ストレス判定者への産業医面談を推奨
- ・心身の不調について、いつでも安心して相談できる環境を整備
- ・必要に応じ、厚生労働省の電話相談窓口「こころの耳」や専門医療機関への案内を実施

4. 長時間労働の抑制と働き方の見直し

- ・一定時間を超える時間外労働発生時、本人へ自動でメール通知、自覚的な働き方改善を促進
- ・各学校・部署の責任者が部下の残業時間を常時把握し、必要に応じて業務調整や指導を実施

本学園は、これらの取組を継続的に改善し、教職員が健康で意欲的に働き続けられる職場を実現することで、未来を担う人材育成に貢献します。

令和7年11月1日

学校法人敬心学園 理事長

小林光俊





内容

- 経済産業省が創設した、健康経営を実践する法人を認定する制度。
- 認定法人は経産省HPで公表され、専用ロゴの使用が可能。
- 本学園は**2026年度以降に健康経営優良法人認定取得を目指している。**



意義

- 健康を重視する組織としての信頼性向上。
- 福祉・教育を担う法人として、社会への模範的姿勢を明確化。
- 「敬心クレド」理念「未来を創る」との整合